

# FindITネットワークプローブのプラットフォーム設定の管理

## 目的

Cisco FindITネットワーク管理は、Webブラウザを使用して、Cisco 100 ~ 500シリーズのネットワークデバイス(スイッチ、ルータ、ワイヤレスアクセスポイント(WAP)など)を簡単に監視、管理、設定できるツールを提供します。また、新しいファームウェアの可用性、デバイスステータス、ネットワーク設定の更新、および保証対象外またはサポート契約の対象ではなくなった接続デバイスなどのデバイスおよびシスコサポートに関する通知も表示されます。

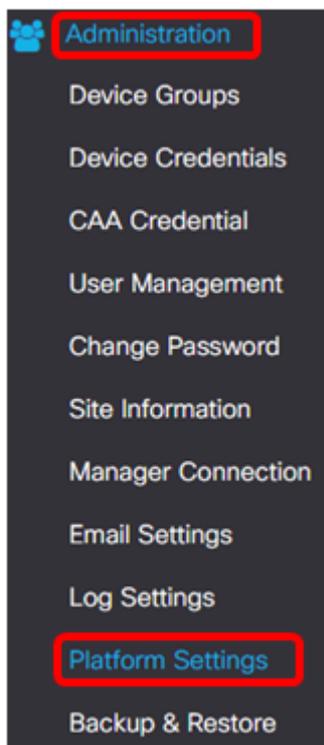
FindITネットワーク管理は、2つの個別のコンポーネントまたはインターフェイスで構成される分散アプリケーションです。FindITネットワークプローブと呼ばれる1つ以上のプローブと、FindITネットワークマネージャと呼ばれる1つのマネージャです。

プラットフォーム設定には、機能するためにプローブが必要とする基本的なシステム設定が含まれています。一部の設定には、管理GUIのIPアドレス、ホスト名、時刻の設定が含まれます。これらの設定は、通常、Cisco FindIT ManagerおよびProbeのインストール時に設定されます。管理者がインストール後に設定を変更する場合、コマンドラインインターフェイス(CLI)ではなく、管理GUIを使用できます。

このドキュメントでは、管理GUIを使用してプラットフォーム設定を設定および管理する方法について説明します。

## プラットフォームの設定

ステップ1: FindITネットワークプローブにログインし、[Administration] > [Platform Settings] を選択します。



ステップ2:[ホスト名(*Hostname*)]フィールドに、プローブのホスト名を入力します。フィールドには、FindITプローブのインストールプロセス中に作成された名前がすでに入力されている可能性があります。このホスト名は、ネットワーク上のFindITプローブのインスタンスを識別するためにBonjourによって使用されるIDです。

注：この例では、ホスト名としてFindITProbeが使用されます。

#### System settings:

Hostname : FindITProbe

#### IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address :

IPv4 Netmask :

IPv4 Default Gateway :

Static DNS 1:

Static DNS 2 :

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length : ?

IPv6 Default Gateway :

#### Time Settings:

Source :  Network Time Protocol  Local Clock

NTP Server 1 : 0.ciscosb.pool.ntp.org

NTP Server 2: 1.ciscosb.pool.ntp.org

Save

Reset

## IP設定

ステップ3:[IP Settings]で、オプションボタンを選択して、FindITプローブがIPアドレスを取得する方法を決定します。次のオプションがあります。

- DHCP:Dynamic Host Configuration Protocol(DHCP)サーバは、管理GUIにIPアドレスを自動的に割り当てます。これはデフォルトです。これを選択した場合は、ステップ [12に進みます](#)。
- スタティックIP：管理GUIに手動でIPアドレスを割り当てます。

注：この例では、[Static IP]が選択されています。

#### IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address :

IPv4 Netmask :

IPv4 Default Gateway :

Static DNS 1:

Static DNS 2 :

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length :

IPv6 Default Gateway :

ステップ4:[IPv4 Address]フィールドで、IPv4形式に従ってローカルIPアドレスをプロンプト管理GUIに割り当てます。

注：この例では、192.168.1.108が使用されています。

#### IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address :

IPv4 Netmask :

IPv4 Default Gateway :

Static DNS 1:

Static DNS 2 :

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length :

IPv6 Default Gateway :

ステップ5:[IPv4 Netmask]フィールドに、サブネットマスクアドレスを入力します。

注：この例では、255.255.255.240が使用されています。

IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address :  ✓

IPv4 Netmask :  ✓

IPv4 Default Gateway :

Static DNS 1 :

Static DNS 2 :

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length : ?

IPv6 Default Gateway :

ステップ6:IPv4デフォルトゲートウェイで、ルータのIPv4デフォルトゲートウェイを入力します。

注：この例では、192.168.1.1が使用されています。

IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address :  ✓

IPv4 Netmask :  ✓

IPv4 Default Gateway :  ✓

Static DNS 1 :

Static DNS 2 :

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length : ?

IPv6 Default Gateway :

ステップ7:[静的DNS 1]フィールドに、DNSアドレスを入力します。

注：この例の場合は.124.6.177.113が使用されます。

#### IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address : 192.168.1.108 ✓

IPv4 Netmask : 255.255.255.240 ✓

IPv4 Default Gateway : 192.168.1.1 ✓

Static DNS 1 : 124.6.177.113 ✓

Static DNS 2 :

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length : ?

IPv6 Default Gateway :

ステップ8: ( オプション ) [Static DNS 2]フィールドにセカンダリDNSサーバアドレスを入力します。

注 : この例では、124.6.177.112が使用されています。

#### IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address : 192.168.1.108 ✓

IPv4 Netmask : 255.255.255.240 ✓

IPv4 Default Gateway : 192.168.1.1 ✓

Static DNS 1 : 124.6.177.113 ✓

Static DNS 2 : 124.6.177.112 ✓

IPv6 Address :

IPv6 Prefix Length : ?

IPv6 Default Gateway :

ステップ9: ( オプション ) [IPv6 Address]フィールドにIPv6アドレスを割り当てます。

注 : この例では、2001::0000:0000:0000:0000:9652が使用されています。

IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address : 192.168.1.108 ✓

IPv4 Netmask : 255.255.255.240 ✓

IPv4 Default Gateway : 192.168.1.1 ✓

Static DNS 1: 124.6.177.113 ✓

Static DNS 2 : 124.6.177.112 ✓

IPv6 Address : 2001::0000:0000:0000:0000:9652 ✓

IPv6 Prefix Length : ?  ✓

IPv6 Default Gateway :

ステップ10: ( オプション ) [IPv6 Prefix Length]フィールドに、IPアドレッシング方式に従ってIPv6プレフィクス長を入力します。

注：この例では、45 が使用されます。

IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address : 192.168.1.108 ✓

IPv4 Netmask : 255.255.255.240 ✓

IPv4 Default Gateway : 192.168.1.1 ✓

Static DNS 1: 124.6.177.113 ✓

Static DNS 2 : 124.6.177.112 ✓

IPv6 Address : 2001::0000:0000:0000:0000:9652 ✓

IPv6 Prefix Length : ?  ✓

IPv6 Default Gateway :

ステップ11: ( オプション ) [IPv6 Default Gateway]フィールドにIPv6デフォルトゲートウェイを入力します。

注：この例では、fe80::7d:1c28:3f57:fe9b:e80bが使用されます。

#### IP Settings:

Connection Type :  DHCP  Static IP

IPv4 Address : 192.168.1.108 ✓

IPv4 Netmask : 255.255.255.240 ✓

IPv4 Default Gateway : 192.168.1.1 ✓

Static DNS 1 : 124.6.177.113 ✓

Static DNS 2 : 124.6.177.112 ✓

IPv6 Address : 2001::0000:0000:0000:0000:9652 ✓

IPv6 Prefix Length : ? 45 ✓

IPv6 Default Gateway : fe80::7d:1c28:3f57:fe9b:e80b ✓

#### 時間設定

ステップ12:[Source]領域で、オプションボタンをクリックして、プローブのクロック同期方法を設定します。次のオプションがあります。

- [Network Time Protocol] : プローブが使用する優先NTPサーバを指定します。これはデフォルトです。
- [ローカルクロック(Local Clock)] : プローブをパブリックNTPサーバと同期させる場合は、これをクリックします。これをクリックした場合は、ステップ15に[進んでください](#)。

注 : この例では、Network Time Protocol ( NTP ; ネットワークタイムプロトコル ) が使用されています。

#### Time Settings:

Source :  Network Time Protocol  Local Clock

NTP Server 1 : 0.ciscosb.pool.ntp.org

NTP Server 2 : 1.ciscosb.pool.ntp.org

Save Reset

ステップ13:[NTP Server 1]フィールドに、プローブと同期するプライマリNTPサーバアドレスを入力します。

注 : この例では、0.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

#### Time Settings:

Source :  Network Time Protocol  Local Clock

NTP Server 1 :

NTP Server 2 :

ステップ14:[NTPサーバ2 ( NTPサーバ2 )]フィールドにセカンダリNTPサーバアドレスを入力します。これは、プライマリNTPサーバアドレスがプローブとの同期に失敗した場合のバックアップとして機能します。

注 : この例では、1.ciscosb.pool.ntp.orgが使用されています。

#### Time Settings:

Source :  Network Time Protocol  Local Clock

NTP Server 1 :

NTP Server 2 :

[ステップ15](#):[\[Save\]](#)をクリックします。

#### Time Settings:

Source :  Network Time Protocol  Local Clock

NTP Server 1 :

NTP Server 2 :

これで、プラットフォーム設定の構成または管理が正常に完了したはずです。